

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	十文字学園女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ジュウモンジガクエンジョシダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ、インターンシップ短期
	学部・研究科等名	人間生活学部
	担当教職員名・役職	松永修一・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	79
	受入企業等数	60
	受入企業等名	荒川区、(株)イマジンプラス、(株)ウイズダムアカデミー、(株)エムエスデー、(株)エム・オー・シー、(株)エルアイン、関東グリコ(株)、(株)キッズベースキャンプ、KCJ GROUP(株)、鴻巣市、(株)興文堂、(株)悟空出版、埼玉県庁 国際課、埼玉県立熊谷図書館、埼玉トヨタ自動車(株)、サミット(株)、(有)ザ・ライトスタッフオフィス、燦クリーン(株)、(株)ジュビターテレコム、志木市、巢鴨信用金庫、(株)スターランドコミュニケーション、スポーツマネジメント(株)、セコムトラストシステムズ(株)、(株)大観社、夢科情報(株)、千葉トヨベツ(株)、土浦市、東海東京証券(株)、東京信用金庫、東京テアトル(株)、(株)トップシーン、(株)ナルミヤ・インターナショナル、(有)新座観光トラベル、新座市、(株)ニッセイコム、日本事務器(株)、(株)日本デイクアセンター、表示灯(株)、(株)ホテルグランドパレス、(株)三笠会館、(株)ヤオコー、(株)谷澤総合コンサルタント、理研計器(株)、リコージャパン(株)、りそな銀行、(株)ルネサスイーストン、和光市、他6社
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ.6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ.7.中小企業でのインターンシップ.8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事.2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	AIを使用した新しいサービスについて、インターンシップ生が企画提案を考え、社員の前でプレゼンテーションを行った。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している.8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次～3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学1年生から大学3年生を対象に、キャリア教育科目の選択科目「インターンシップ」、「インターンシップ短期」として、夏期休業期間中または春期休業期間中に実施している。本科目では、社会や企業を知り、仕事や職業とは何かを考え、今後の職業適性や将来設計について自らに問う機会を持たせることが目的である。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている.2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている.4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている.3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全15回の事前学習科目「インターンシップ入門」の中で、企業が求めている人材像について学び、インターンシップの受入先企業、地方自治体などの基本的な知識を身に付ける。インターンシップの内容や参加する意義を自ら探し、より良い体験の機会を得られるよう準備する。また、それらの体験をいかに活かしていくかを考え実践する準備を行う。更に直前の事前指導では、インターンシップ中のリスクマネジメントについて指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後2週間以内に、就業体験の内容、体験からどのような学びがあったのか、その成果があったか、今後の課題を考えたものをインターンシップレポートとして作成する。更にインターンシップ報告会において成果発表を行う。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	

要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後、レポート作成や報告会によって振り返りを行い、学生の意識や行動の変化を客観的に把握している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	新座市役所他20の官公庁や企業において、実労10日間のインターンシップ、リコージャパン株式会社他33の官公庁や企業で実労5日間のインターンシップを行っている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している。6.企業と協働して、PDCAを実施している。7.その他
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	企業からのインターンシップ事例発表後に、その企業の魅力とインターンシップに対する目標設定、インターンシップまでに自分が出ること考え、共有する。
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップに参加した学生個々について、1.勤務態度・4項目、2.業務への熱意・4項目、3.業務の理解・4項目の夫々に対して、S・A・B・C・Dのランク評価と具体的所見、更に総合ランク評価と担当責任者による総合評価を実施している。また、要望や意見も求めて今後の活動に役立てている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	十文字学園女子大学
	担当部署名	就職支援部就職支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	048-489-1271
	メールアドレス	career@jumonji-u.ac.jp